

PROGRESS

中産連の月刊マネジメント専門誌

プログレス

CONTENTS 2011/5

潮流 責任不存社会の悲劇 愛知学院大学 名誉教授 今光 廣一 1

特集 1. 低成長時代における企業価値最大化に向けた財務・IR戦略
..... 早稲田大学大学院 商学研究科・会計研究科 兼任講師 柳 良平 2

2. 「育てる」から「育つ」へ～部下の自律を組織力に転換させるコーチング～
..... (株)ドリムコーチ・ドットコム 代表取締役 吉田 典生 9

企業訪問シリーズ「革新の創造力」
《第2回》株式会社鈴寅:薄膜技術をもとに起死回生の逆転劇 15

会員懇話会抄録 “不機嫌な職場”は変えられるのか～社員が協力し合える組織の作り方～
..... (株)ジェイフィール 代表 高橋克徳氏 17

コラム「大道無門」 スイス・ドイツの加工製造業の経営戦略
..... 名古屋工業大学 産業戦略工学専攻 准教授 竹野 忠弘 21

中産連だより・22 中産連セミナー案内・24

表紙写真の説明

技術力と製品の魅力を広く発信

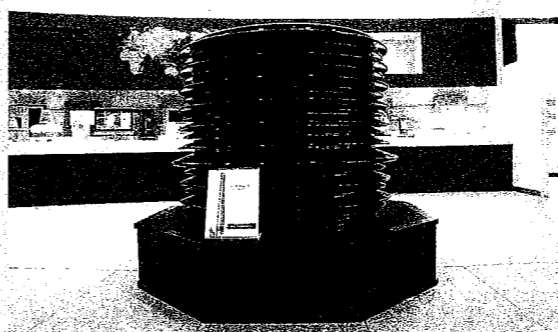
日本ガイシ(株)
(中産連会員番号・N041)

日本ガイシ(株)(加藤太郎社長、柴田昌治相談役・中産連理事)では、本年1月に本社ビル1階の展示スペース「広報スクエア」(名古屋市瑞穂区)をリニューアルオープンした。

同スペースは、本社ビルの新築に合わせて1991年から設置されているが、事業内容と製品、技術力をさらにアピールできるスペースとして、20年ぶりの全面改装となった。

国立科学博物館の重要科学技術資料に登録された自動車排ガス浄化用触媒担体「ハニセラム」の量産第1号品などを展示するほか、合計12台のモニターにより、主な製品のしくみや特長をより分かりやすく紹介している。また、中国の変電所で実際に使用されている、全長11メートル・直径約1.5メートルの世界最大級の磁器製「がい管」の一部を展示。来訪者の興味を引きつけている。

また、床の段差をなくし、バリアフリーの空間にしたほか、LED(発光ダイオード)照明を採用して省エネルギーにも配慮している。



世界最大級のがい管の一部



日本ガイシ(株)ホームページ
<http://www.ngk.co.jp>

潮流



愛知学院大学

名誉教授

今光 廣一

責任不存社会の悲劇

この度、東日本大震災が発生し、史上希な大災害となり、多くの人命が失われました。ここに一日でも早い復興を願うとともに犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたします。今回の大震災は、巨大な地震と大津波による大災害のみならず、これまで安全で心配無用と保証されてきた原子力発電施設が易々と破壊され、その二次的災害が大きく憂慮されているところに、これまでの災害と一線を画するものがあります。そして、今日マスメディアは原因追及と責任者捜しで多忙です。航空機で海外に出かけると、時々預けたスーツケースが行方不明になることがあります。日

日本の文化(価値体系)はアメリカによって代表される個人中心の文化と対極的な立場にあります。私達は世界のあちこちで日本の価値観と相手の価値観との相克に悩んでいます。私は戦後の混乱期に社会に出た故か、十一回も転職をしていますが、一度たりとも、入社の際に仕事の範囲や責任について交渉したり、約束したりした経験はありません。アメリカの大学での学外演習で、百貨店の入社模擬試験を受けましたが、日本との違いに大変驚きました。まず質問するのは私、つまり受験者側。次いで自分はこんなに能力があるのでこれだけは欲しいと職務と給与の交渉をします。入社

といえます。一九五三年の留学時に、戦後日本に導入された六・三・三・四年制の教育制度はアメリカでも実験段階で問題も多し、日本の大学制度はアメリカの五十年前と同じで改革が必要なことなど知らされました。それから五十年経った頃、あれほど日本鼻根のドラッカー教授が、日本の大学教育はアメリカと比べて百年遅れていると日経新聞で厳しく批判していました。文科省がこれまで定食タイプの大学設置基準を策定し、細かく行政指導をしてきた結果、金太郎飴型の特徴の無い大学を量産し、現在、多くの学校を危機的状態に追い込んでいます。原子力行政と根は同じであると考えられます。

本の航空会社なら誰でも事情を訊いてくれ、親身になって協力してくれます。しかし、外国の航空会社の場合は、相当上席の管理職(その会社の空港長など)に強硬に申し入れないかぎり腰を上げません。私も数回の経験がありますが、一件は日本の冬にブラジルのサンパウロ市にある重電機メーカーにコンサルティングに出かけたときです。ニューヨークの空港で別の便に乗り換える際、夏服などを入れたトランクを失いました。帰国間際にトランクは戻りましたが、事情はニューヨークで手荷物が多かったために労働者が契約の時間がきたので荷物を残して帰ったからでした。

後、その能力が無いと分かったら退職するという契約も取りかわします。これは現地の中学、高校での採用試験でも同じでした。このような「文化の衝突」は何故起こるのかよくよく考えて見ますと、日本の文化が、中世時代をそのまま引き継いだ近代化(良し悪しは別にして)以前の状態にあるためではないでしょうか。一旦入職試験に成功すれば、あとは出世が確約された日本版科举制度の維持、アメリカ人が首をかしげる独禁法における「優越的地位の濫用」という条文の存在など、これらは中世期の身分制度をそのまま社会に残している証

昨秋、SAM日本チャプター(会長・小林薫産業能率大学名誉教授当時)より、思いがけなくSAM国際賞候補者として推薦頂き、その後SAM国際本部より本年度の国際賞として、マーケティング・マネジメントにおけるフィル・キャロル賞授与の決定通知を受け、四月初旬、フロリダ州オーランド市のローゼンプラザホテルでの受賞式に招待されました。受賞謝辞としてのスピーチの機会を得て、今日の金銭的成果を最終経営目的とする資本主義的経営は限界にきており、それに代わり企業や社会の健全性の追求こそ経営の最終目的とすべきであり、これこそテイラーがめざした経営理念ではないかと訴えました。米国を中心に世界に支部を置き、数千名の会員と九十九年の歴史を誇るSAMは、中部産業連盟とも深く長い関係を持つっており、これまで中部での加藤己二郎元中野新聞社会長、高仲頼りー中産連相談役の命名高いお二人の国際賞受賞の後をつぐ者として一層の精進を心がける所存であります。